

であいこうか

DEAI 3 KOKA
地域で活躍されている元気な方を紹介するコーナーです。

岡根製作所 竹ものさし職人 岡根 勝さん(甲南町電法師)



必要としてくれる人がいる限り作り続けたい

どこか懐かしく温かみのある「竹ものさし」。最近ではプラスチック製などの普及度あまり見かけなくなりました。「竹は一本一本、形が違います。作業は細かいし手間もかかります。」と語るのには、この道ひと筋45年、竹ものさし職人の岡根勝さん。

なじむことから現在でも需要があります。全国では同業者がなく、現在手作りされているのは、ここ岡根製作所だけ。インターネットでも注文があり、北は青森から南は鹿児島まで各地に発送されているそうです。岡根さんは、一般用のほか、和・洋裁、焼き物、材木、新聞用など用途に応じた特殊な目盛りのついた、その道のプロが使うものさしも製造されています。「どこにも売っていませんでした。大切に使っています、という札状をいただく、作りがいがあります。いい加減なもの

は作れません。」と岡根さん。また最近では、本来の「計る」用途としてだけでなく、商工会と協力して和紙のケースにもものさしを入れた土産品の売り出しも始められたそうです。「計り」としての代わりはいくらでもあ。需要が減っているからこそ発想の転換が必要。アイデアをもらったら試作はいくらでもしますよ。」と新作にも意欲的です。

後継者の問題もあるようですが、「うちのものさしでないとアカン、と言ってくれる人がいる限り、作り続けていきたい。」と笑顔で語っておられました。日本古来の「竹ものさし」、いつまでも大切に受け継がれてほしいものです。



20以上の工程を家内工業で手がける岡根さん

春の野山を歩く～甲賀流忍者の里山ウォーク～

▶特産品の販売も行われお土産を買う参加者も



甲賀流忍者の里山ウォークが4月29日(日・祝)、行われ、市内をはじめ、遠くは和歌山から112名が参加、春の甲賀路を楽しみました。

これは、忍者の里である甲南町・甲賀町の両観光協会が初めて合同で主催したものです。JR甲南駅を出発し、終点の甲賀駅まで、忍術屋敷や忍術村など甲賀忍者ゆかりの名所を巡るコースで、約14キロの道程にもかかわらず参加者の皆さんは健脚ぶりを見せていました。

昼食では、たけのご飯とたけのこのみそ汁で旬を味わい、ウォークを終えた皆さんからは、「ごはんもおいしく、日ごろの疲れが癒された」「ガイドがよく、地元でも初めて知ることがあった」と春の一日を満喫していました。



▶最初はおっかなびっくりでしたが...

子どもたちはすぐにコツをつかんだ様子。短時間で田んぼ一面、涼しげに苗が並びました。キラキラ光る水田をバックに生き生きと輝く子どもたちの笑顔。今年もたくさんのお米が元気に育ってくださるよう!

苗も子どももすくすく育て!

貴生川小学校5年生・田植え体験より

寄稿 前まちかど特派員 杉山 祐子

「きゅっ、カエル!!」「助けて、足が抜けへん!!」晴天の5月9日(水)、小学校の『みんなの田んぼ』はとて賑やかでした。田植え体験はほとんどの児童が初めてで、「苗は根を切らないように優しく分けて、3本ずつ植えましょう。」と先生から説明を聞くと、おっかなびっくり足を田んぼへ。心配そうにのぞきこむ後半の子たちに、先に入った子は、「ふわっとして気持ちいい。」と土の感触を楽しんでいました。先生はおなじみの中西弥一郎さん。「少々曲がっていても、手で刈るから大丈夫。」と余裕の笑顔で子どもたちを頼もしそうに見守っておられました。「もっと苗ちょうだい。」と追加で植えたりするなど、

交通安全戦隊 カクニンジャー参上

～春の交通安全啓発～

5月11日(金)から行われた春の交通安全運動のオープニング啓発が、甲賀湖南交通安全協会の主催で湖南市の三雲ドライブインで行われました。

この日は、交通安全協会、甲賀署他、関係者約70人が国道1号を走るドライバーに交通安全を啓発し、交通安全協会パトロール隊員が「カクニンジャー」に変身、忍法「交通安全、確認じゃ(忍者)」と声を合わせ、交通マナーの向上を呼びかけました。

また、啓発では甲賀署に贈られた手作りのミニチュア「ペットボトル蛙」が配られ、交通安全を願いました。

交通マナーを守らなければ、カクニンジャーがやってくるかも、これからも安全運転を心がけたいものです。



▶忍術村からは「くのー」も駆けつけ啓発品を配布

新調の鉾もお披露目 ケンケト祭り

約70年ぶりに新調された3基の鉾



▶勇壮に川を渡る御輿

土山にある瀧樹神社で5月3日(木)、国選択無形文化財のケンケト踊りが奉納されました。ケンケト踊りは、地元の子どもが背丈と同じくらい大きな羽根飾りを頭につけ、「ケンケトケンケン」の掛け声に合わせて片足で飛び跳ねる踊りで、当日は多くの観光客の皆さんが伝統の祭礼を楽しみました。(表紙写真)

一方、祭礼の行列の先頭には約70年ぶり復元された「日鉾」「月鉾」「矢鉾」の鉾3基もお披露目され、華やかな祭りを一層盛り上げました。また、この祭りでは御輿も奉納されますが、野洲川を渡る御輿が見どころで、多くのカメラマンがシャッターを押していました。

土山産のお茶が給食に

茶摘みの季節となった5月7日(月)、市内の小中学校などでは、土山産のお茶を使った献立が給食に登場しました。

献立は、「青菜のごま和え」にお茶の葉を混ぜたもの。「緑茶はダイオキシンをはじめ、様々な発ガン物質を体外へ排せつする作用や、かぜのウィルスをよせつけない力があるといわれています。」と児童たちが説明を聞きながら、給食をいただく小学校もありました。

地元でとれた農産物がこれからは給食に取り入れられ、子どもたちに味わってもらいたいものです。



▶お茶の葉を見つけ楽しそうに給食をいただく児童たち(甲南第一小学校)